

2021 年 12 月 14 日
早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター

第 17 回 1F 廃炉の先研究会・事前勉強会
～アメリカの廃炉事業と市民参加に関する勉強会～
議事録

日時: 2021 年 12 月 10 日 (金) 18:00–19:45

開催方法: Zoom

出席者 (敬称略):

研究会代表

松岡俊二: 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・教授

研究会副代表

崎田裕子: NPO 法人・持続可能な社会をつくる元気ネット・前理事長

森口祐一: 国立環境研究所・理事

研究会メンバー

井上 正: 電力中央研究所・名誉研究アドバイザー

小林正明: 中間貯蔵・環境安全事業株式会社・社長

永井祐二: 早稲田大学環境総合研究センター・研究院准教授

菅波香織: 未来会議・事務局長 (途中退出)

柳川玄永: 三菱総合研究所原子力安全事業本部復興・再生グループ・主任研究員

(欠席)

遠藤秀文: 株式会社ふたば・社長

宮野 廣: 日本原子力学会・福島第一原子力発電所廃炉検討委員会・委員長

小野田弘士: 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・教授

吉田恵美子: NPO 法人・ザ・ピープル理事長、いわきおてんと SUN 企業組合・代表理事

オブザーバー

松本礼史: 日本大学生物資源科学部・教授

寿楽浩太: 東京電機大学工学部・教授

小松登志子: 埼玉大学・名誉教授

溝上伸也: 東京電力 1F 廃炉推進カンパニー・燃料デブリ取り出しプログラム部 APGM スペシャリスト

山浦 崇: 経済産業省・復興派遣員

紺野美王: 経済産業省

高橋徹治: 原子力発電環境整備機構

高橋美昭: 原子力発電環境整備機構

佐藤 徹: 経済産業省・資源エネルギー庁

杉本拓也: 早稲田大学文化構想学部・4 年生

事務局

山田美香: 早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター・広野町駐在研究員

朱 鈺: 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・博士課程

李 洸昊: 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科助教 (途中参加)

中野健太郎: 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・博士課程

松川希映: 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・修士課程

倉重水優: 早稲田大学政治経済学部

司会:松岡俊二 (1F 廃炉の先研究会・代表)

報告 1 「米国・サバンナ・リバー・サイトの地域助言委員会 (Savannah River Site-Citizen Advisory Board: SRS-CAB)について」

朱 鈺(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・博士課程)

- ・12/16 に開催する第 17 回廃炉の先研究会の事前勉強として、報告者はサバンナ・リバー・サイト (SRS) の廃炉事業、及び廃炉に関する地域対話の場であるサバンナ・リバー・サイトの地域助言委員会に着目して、米国の廃炉事業と市民参加の進め方を説明した。
- ・出席者は報告を踏まえ、廃炉ガバナンスの日米比較をめぐって議論した。

報告 2 「第 17 回研究会に向けた論点整理」

崎田裕子:1F 廃炉の先研究会・副代表

- ・報告では、第 16 回 1F 廃炉の先研究会で討論した米国・TMI-2 原発事故処理の市民パネルの事例を振り返り、論点を整理した。
- ・次回の研究会に向け、以下の論点が整理された：
 - 米国の廃炉事業におけるエネルギー省 (USDOE) の役割
 - USDOE の廃炉における市民参加の意義・目標と位置づけ
 - 地域助言委員会 Site-Specific Advisory Boards (SSAB)の設立、運営方法・メンバー構成
 - サバンナ・リバー・サイトでの地域助言委員会の設立 Savannah River Site Citizen Advisory Board (SRS-CAB) の成果、教訓
 - 1F 廃炉事業が、SRS-CAB などのアメリカの市民参加から学ぶべきもの

今後の予定について

12/16 (木) 9:00-11:30	第 17 回 1F 廃炉の先研究会
12/20 (木) 18:00-20:00	第 3 回 創造的復興研究会

2022 年

1/15 (土) 13:00-17:00	第 2 回シンポジウム「福島第一原子力発電所・事故調査と 1F 廃炉の将来像を考える：原子力規制委員会の 1F 事故調査・分析と 1F 廃炉政策」
1/30 (日)	第 9 回ふくしま学 (楽) 会
2 月中旬	国際教育研究拠点をめぐる地域対話の場 (予)
3/2 (水) 16:00-20:00	第 11 回原子力政策・福島復興シンポジウム (予)

以上